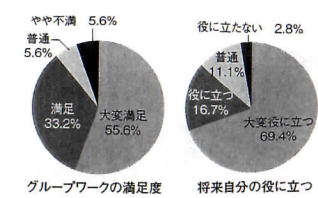


図2 サマースクールの学生満足度調査



今年度は66名が参加し、「企業が求める人材像」についての講演や5大学のOB・OGによる講演・10年後になりたい自分の将来像をテーマにしたグループワークと発表会が行われました。グループワークでは、専門分野の異なる学生同士が、10年後、20年後の自分の将来像と、どのように多職種が協力していきけるのかについて、熱心に議論しパワーポイントで発表しました。参加した学生からは、「自分の専門についてうまく説明することができなかった。それぞれの専門家が自分の専門の基盤をしっかりと固め、誇りを持つことが、異分野連携において重要なことではないかと感じました」「医療・福祉はさまざまな分野の融合であること、

生、教職員、卒業生が参加し、1泊2日の「サマースクール」を実施していますが、参加学生から高い評価を得ています(図2)。

今年度は66名が参加し、「企業が求める人材像」についての講演や5大学のOB・OGによる講演・10年後になりたい自分の将来像をテーマにしたグループワークと発表会が行われました。グループワークでは、専門分野の異なる学生同士が、10年後、20年後の自分の将来像と、どのように多職種が協力していきけるのかについて、熱心に議論しパワーポイントで発表しました。参加した学生からは、「自分の専門についてうまく説明することができなかった。それぞれの専門家が自分の専門の基盤をしっかりと固め、誇りを持つことが、異分野連携において重要なことではないかと感じました」「医療・福祉はさまざまな分野の融合であること、

そして自身の分野以外にも学ぶべきことがたくさんあるということを感じました」などの声が寄せられました。

このサマースクールでは、5大学相互の交流が生まれるだけでなく、専門性が異なる人とのコミュニケーションの難しさや楽しさを体感し、多くの学生が新しい「気づき」や意識の変化を実感しています。

本事業では、将来活躍する人材の拡大を図るため、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けた高等学校との連携(高大連携)に取り組んでいます。

昨年7月には第36回国際生理学会(IUPS2009)と連動した科学体験イベント「サイエンスプログラム科学にふれる夏休み」を開催し、3日間のイベントを通じて中高生257名が参加しました。本事業が企画・運営に携わり、細胞(ミクロの世界)のぞいてみよう、からだのふしぎを大探検)、心臓・循環器(心臓のお医者さんになってみよう)、聴覚(耳ってどうやって聞こえるの?)、顔・認知(顔のしくみ、顔のふしぎ)、味覚(味のふしぎ(うま味ってなんだろう?))の5つの体験型プログラムに加え、科学展示などを行い、参加した生徒・見

高大連携教育

本事業では、将来活躍する人材の拡大を図るため、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けた高等学校との連携(高大連携)に取り組んでいます。

昨年7月には第36回国際生理学会(IUPS2009)と連動した科学体験イベント「サイエンスプログラム科学にふれる夏休み」を開催し、3日間のイベントを通じて中高生257名が参加しました。本事業が企画・運営に携わり、細胞(ミクロの世界)のぞいてみよう、からだのふしぎを大探検)、心臓・循環器(心臓のお医者さんになってみよう)、聴覚(耳ってどうやって聞こえるの?)、顔・認知(顔のしくみ、顔のふしぎ)、味覚(味のふしぎ(うま味ってなんだろう?))の5つの体験型プログラムに加え、科学展示などを行い、参加した生徒・見

本事業の課題と展望

昨年7月には第1回外部評価委員会を開催し、委員からは「本事業の基本コンセプトが確立されており、臨床医工連携・融合領域の人材育成に対して、基礎・応用・実践の視点から体系化された独自のプログラム構築が図られており高く評価できる」といった取組内容を評価する声がある一方で、「本事業におけるプログラムを修了した学生が医工学や情報学を活かせる職場に就職しているかを把握できるデータベース作りが必要である」「本事業は今後の継続が極めて重要であり、公的資金の支援期間終了後における

武庫川女子大学
兵庫県西宮市池町6-46
0798-47-1212 <http://www.mukogawa-u.ac.jp/>
取組webサイト <http://kansai5u-amei.jp/>



グループワークの様子(サマースクール)

将来の日本の地域医療・福祉を支える優秀な人材を育成

H20選定 戦略的大学連携支援事業
関西5大学連携による「臨床医工学・情報学」領域の人材育成事業
武庫川女子大学

図1 5大学連携事業による人材育成の概念

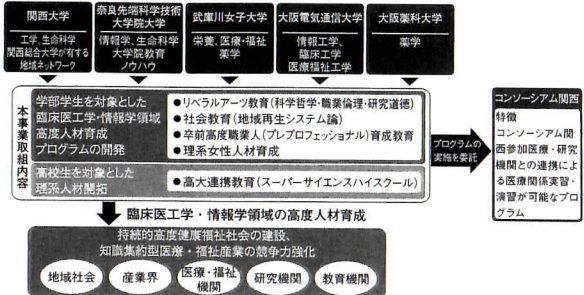


表1 開講科目一覧

教育プログラム名	授業科目名	開講時期	単位	受講者数	
				平成21年度	平成22年度
リベラルアーツ教育	臨床医工学・情報学の知性・感性・教養	前期	2	75	53
	臨床医工学・情報学の実践論(※1)	後期	2	55	55
社会教育	健康環境論(※1)	前期	2	2	9
	地域活性化システム論	前期	2	20	34
プレプロフェッショナル教育	プレプロフェッショナル教育(※2)	前期・後期	2	39	45
	専門科目: 生体システム学コース、医学・医療入門コース				
	共通科目: 医学統計学入門、理系英語入門、医療制度入門				
	実習科目: バイオメカニクス実習(関西大学機械工学科) 大阪大学医学部附属病院未来医療センター見学実習 箕面市立病院および箕面市総合保健福祉センター見学実習 大阪大学医学部附属病院核医学診療科見学実習 大阪大学歯学部見学実習				
理系女性人材育成	理系女性のためのキャリアパス設計論	前期・後期	2	93	53

受講者数は、大学院生の聴講者を含む
※1 平成22年度から開講 ※2 専門科目、共通科目、実習科目より1つずつ履修

「社会教育プログラム」では、医療、福祉の分野から地域を活性化させるために必要な知識、構造、特性、問題点を明らかにし、地域の活性化に向けた方策を考える能力を身につけることを目指します。また、地域や地球環境の現状について正しい認識を持ち、健康、医療から見た人間と環境とのかわりについて学びます。

「プレプロフェッショナル教育プログラム」では、臨床医工学・情報学研究領域を十分に理解し、即戦力の職業人として活躍し得る人材育成を目的として、専門色の強い、病院等での体験型実習を取り入れた講義を行います。

「理系女性人材育成プログラム」では、ロールモデルの提示、キャリア実現のための資格取得、女性を取り巻く社会環境および支援制度をテーマとした講義、および、臨床医工学・情報学領域の施設(病院、企業、大学等)の見学やキャリアパス設計に関するグループワーク等の実習を行います。

本連携事業で実施している各科目は、各連携校において単位認定され、表1に示すとおり多くの学生が受講しています。

8月下旬に、5大学の学生、大学院

異分野学生との交流は自分の専門性へのモチベーションアップに

自立性の確立が求められる」といった事業の継続にかかる部分の意見がありました。

関西5大学連携による本事業の取組は、新規に立案したカリキュラムによって、将来の医療福祉社会に貢献できる人材を育成する他の取組には例がないユニークなものです。今後、FD・SDの推進や事業の継続・発展・充実を図るとともに、カリキュラムの修了者の進路を追跡調査することによって本事業の有効性を検証し、社会が求める優秀な人材を育成していきたいと考えています。

(生活環境学部食物栄養学科教授 福尾恵介)